

Life みやぎ

エイジングマガジン

夏号
SUMMER

2017年6月20日発行

発行 社会福祉法人宮城県社会福祉協議会
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目2-3
TEL.022-223-1171 FAX.022-223-1151
ホームページ http://www.miyagi-sfk.net/
(※トップページの「広報」で紙面を閲覧できます)

企画編集 河北新報社
協力 宮城河北会

INDEX

- 3 道の駅 名物商品作る 元気シニア
- 4 道の駅グルメ
- 5 “もったり”体型バイバイ体操
- 6 イベント&トピックス/お好みシネマ缶
- 7 ピックアップ
- 9-10 宮城いきいき便り
- 11 いきいきSUNクラブnews
- 12 SUNSUNTライ/短歌/俳句/川柳
- 13 いきいきサロン
- 14 Q&A

シニア世代の出品者が活躍

道の駅三滝堂の物産直売所には多くのシニアが出品している。「二人で160歳」と笑顔を見せる管野恭平さん、紘子さん夫妻は、登米市内で「管源米店」を営み、団子や餅、おこわなどを手作りしている。朝4時から仕込み、製造が一段落した後は、夫婦で道の駅三滝堂までドライブするのが日課だ。

「週末はもちろん、平日でもにぎわっている。たくさんの方が買ってくださいるので、作りがいがある」と恭平さん。紘さんは「道の駅の周辺は緑が多く景色がいい。主人とのドライブが栄養剤」とほほ笑む。



あんこやたれも、もちろん自家製

登米市産みやこがねで作る「杵(きね)つき餅」(300円)。自家製のあんこ、えび、ずんだを絡めている

登米市産ひとめぼれ使用の「だんご」(410円)。ごま、くるみ、ずんだ、あんこ、しょうゆの5種詰め合わせ



管野恭平さん(82)

紘子さん(78)

わざわざ行きたい

↓ グルメ、買い物…楽しみいっぱい ↑

宮城の道の駅

道の駅はドライブの休憩はもちろん、買い物や食事などさまざまな楽しみがある。現在、宮城県内にある道の駅は13カ所。今回は登米市に4月に誕生したばかりの「道の駅三滝堂」を訪ねた。(3、4面に関連記事)

※価格は商品1点の総額(本体価格+消費税)



道の駅三滝堂
登米市東和町米谷字福平191-1
TEL0220-23-7891
営/物産直売所9:00~19:00
フードコート10:00~17:00
ファミリーマート24時間
休/無休



明るい雰囲気の物産直売所



地元のシニアが作る「古民家模型」は工芸品コーナーの売れ筋



ご飯、小鉢、漬物付きの「油麩入りカレーはっと定食」

登米市名物を堪能

フードコートでは麺類や丼、カレー、定食が味わえる。「油麩入りカレーはっと定食」(860円)は、つるつ、もちっとしたはつと、うま味たっぷりのカレーが好相性。具の油麩はカレーが染み込み、ふんわりしつとりと優しい口当たりだ。畜産が盛んな地域ならではの「仙台牛ステーキ定食」(3800円)も人気メニューの一つ。

天気に恵まれた5月の取材時は、青空と木々の緑のコントラストが美しく、周囲の自然にも癒やされた。キャンピングカーで車中泊ができるRVパーク、ドッグランもあり、思い思いに過ごせる。

道の駅三滝堂は三陸自動車道の三滝堂ICに併設され、物産直売所、フードコート、コンビニエンスストア「ファミリーマート」が一体となっている。一般道からも立ち寄りやすいとあり、平日にもかかわらず、観光客やビジネススマン、住民らでにぎわっていた。

特徴の一つは、登米市産木材を多用した温かみ



女子トイレのドレッサーには登米市産木材が使われている

「道の駅三滝堂」は三陸自動車道の上下線と一般道から入場できる